

びわ湖トラスト親子環境学習講座 ～秋トチノキ観察～ 報告書

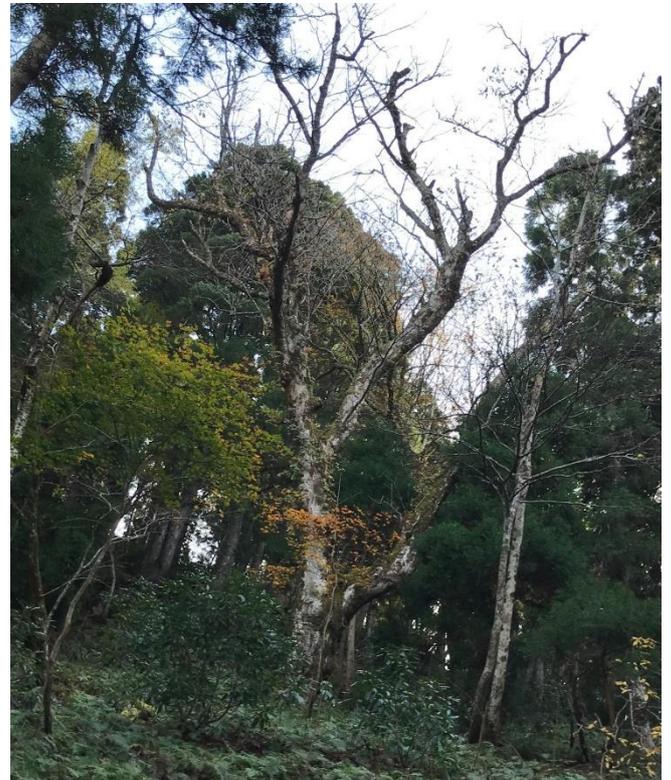


認定NPO法人 びわ湖トラスト

実施日 : 2021年11月6日(土)
 後援 : 大津市教育委員会、巨木と水源の郷をまもる会
 協賛 : 公益財団法人 平和堂財団
 参加者 : 8組 20名(大人:10名・子供:10名)
 スタッフ: 巨木と水源の郷をまもる会 5名(講師含む) + 1名(小学生)
 トラスト 7名(ボランティアスタッフ含む)
 平和堂財団 1名

行程

8:00 大津駅発
 8:20 JRおごと温泉駅発
 9:20 道の駅集合・出発
 10:00 山帰来着
 オリエンテーション
 11:00 登山開始
 12:00 トチノキ観察・休憩
 12:40 下山開始
 13:40 山帰来着・昼食
 14:10 草木染め
 トチ餅試食
 16:00 解散、バス・自家用車で帰路へ



当初岩島から入山するコースを予定していたが、事前の下見でコース途中に危険箇所が確認され、急遽予定を春と同じ中牧(山帰来)からのコースに変更。混乱を避けるため集合場所はそのままとし、全員が揃ったことを確認、検温と健康チェックの後、バスと自家用車を連ねて山帰来に移動。

本日の目標はもちろん「トチノキの巨木を観察する」ことだが、ガイドより「川の源流を発見する」も、もう一つの楽しみであると知らされる。巨木とは幹まわり3m以上の木とのこと。現地に向かうには手足を始め全身を使って急斜面の登降に挑戦するが、「秋の紅葉の森の素晴らしさを満喫しよう」とお話し頂いて、出発前から気分が高揚する。



登山途中の諸注意、特にマダニ、ヒル、毒ヘビなどの話を聞き、各自虫除けスプレーをかけて、ガイドの指示に従い入念に準備体操をして、午後のイベントのため山帰りに残るスタッフに見送られ出発する。



大宮神社で登山の無事を祈願してから、昔地域の方々が山仕事に利用されていたという道を進む。親子でも進みやすいようロープを設置し、歩きやすいよう整備されていた。堰堤を渡る地点では大人やスタッフが安全を確保。傾斜30度を超える急登を一気にこなして、まずは淀川水系安曇川の支流、針畑川のそのまた支流の源流（斜面から湧水が湧き出ている地点）を観察。そこから一投足で、誰一人の脱落者もなく無事トチノキ巨木群の休憩地に到着。



各自持参した軽食を食べ水分を補給して記念撮影をした後、しばしの自由時間。トチの巨木に登ったり根元の空洞から幹にあいた穴を上って顔を出したりする光景は毎年恒例となっているが、小学生のみが味わえる特権である。また、ガイドより竹から作ったかわいい笛が子供たちに手渡され、その音色が山中に響き渡った。

帰路まず尾根に上がって、往路よりはやや緩やかな下山道を辿る。それでも随所に滑りやすいところがあり、大人も子供もこける人がいるが、全員負傷することなく山帰来まで戻った。途中小さなりんごのような実が落ち葉にうもれていたが、オオウラジロの木の実だそうで果実酒にもなるらしい。また、以前炭焼きを行っていた跡を案内して頂き、昔の山里の生活の様子を偲んだ。



山帰来に着いて、鹿肉カレーを味わい、程なく午後のイベント草木染めに挑戦する。まず室内で説明を聞き、各自ゴムひもで縛ったり輪ゴムでビー玉を付けたりして下準備。屋外に鍋に草木の葉で色付けした液体が温めてある。紫、黄、茶の3色の液にはそれぞれビワ、カルカヤ、トチの葉の成分が溶けている。好きな色を選んで約5分つけて染めた後、水で洗い、色素定着のためにミョウバンを溶かした液体につけ（媒染と呼ぶ）、再度水洗い、2度目の染色・・・と複雑な手順を経て最後に水洗いをして完成。参加者同士作品を見せながら評価をし合っていた。

最後にこの地域の郷土食でもあるトチ餅を入れたぜんざいをいただき、予定していた終了時刻（16時）には全員が作業を終え、最後に記念撮影をして解散の運びとなった。





コロナ禍でストレスのかかる日常が長期化する中、好天にも恵まれ参加者は大自然の中で澄んだ空気を吸って充実した一日を過ごせたと思う。

